

平成 18 年度

大学情報セキュリティ研究講習会 開催要項

日程：平成 18 年 8 月 4 日(金), 5 日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス

社団法人私立大学情報教育協会

<http://www.juce.jp/sec2006/>

講習会の趣旨

eラーニング、Web ベースド・トレーニングなど情報通信技術を活用した教育の普及に伴い、大学の情報運用管理の安全性の確保を図るため、情報および通信の暗号化、個人認証の厳格化、情報漏洩の防止、不正侵入防止の監視体制強化、遠隔授業のアクセス制限、教室内での携帯電話とLANの接続をはじめ、個人情報保護のためのセキュリティ対策、著作権等のコンプライアンス対策など、大学全体で取り組むべき情報セキュリティ機能の向上を目指して、情報運用管理の責任者および担当者を対象に最新知識の紹介と情報交流を行います。また、現場担当者の実務能力の維持・向上を目指して、ネットワーク運用管理技術の実習を行います。

講習の進め方

本講習は、最初に、参加者全員による全体会において問題の所在を共通認識していただき、その上で、セキュリティ情報管理分科会およびセキュリティ技術分科会に分かれて、討議・研究課題や実習課題を確認します。

続いて参加者が選択する A-1 セキュリティ政策コース、A-2 情報管理コース、B-1 ネットワーク基本技術コース、B-2 ネットワーク運用管理コースにて、それぞれ講習、事例研究、実習等を行います。

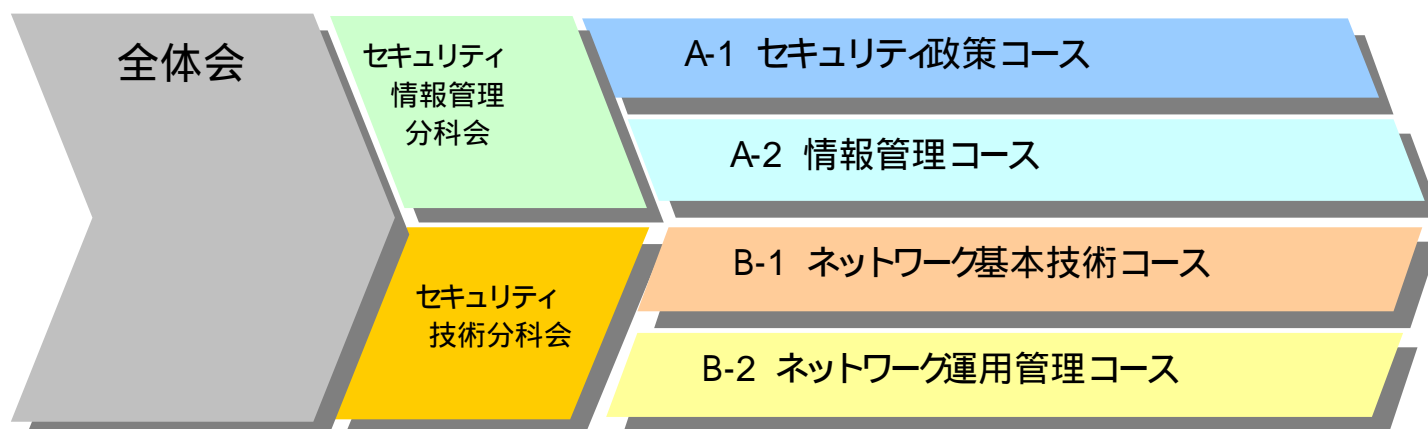
A-1 セキュリティ政策コース、A-2 情報管理コースでは、講義や事例研究、討議により学習します。

B-1 ネットワーク基本技術コース、B-2 ネットワーク運用管理コースは、PC を用いた実習等が含まれます。

1 日目

2 日目

[講習の流れ]



現状の問題点の整理と情報管理の重要性の共通認識を図ります

それぞれの参加者の立場で課題を確認します。

提示された課題に対して詳細の議論や事例研究、およびネットワークやシステムに関する実習を行います。

参加対象者

加盟大学・短期大学の教職員。A-2 コースのみ賛助会員も参加対象とします。詳細は講習概要をご覧ください。

会場

東洋大学白山キャンパス(東京都文京区白山 5-28-20)

受付場所、講習会場については本講習会 Web サイトでお知らせいたします。

参加費

A-1 コース 20,000 円

A-2, B-1, B-2 コース 30,000 円

参加費の振込については、参加確定の連絡(下記[申し込み方法](#)を参照下さい)に記載の振込方法に従いお

振込み願います。

募集定員

会場定員により、参加者の調整をお願いすることがあります。

情報交換会

1日目プログラム終了後、希望者を対象に情報交換会を実施します。別途参加費(6,000円 税込)が必要です。

申し込み方法

当協会 Webサイト <http://www.juce.jp/sec2006/> の申込フォームもしくは最終ページの申込用紙にて7月21日(金)までにお申し込み下さい。7月24日(月)中に参加確定の連絡を電子メールでお送りします。

講習概要

全体会

テーマ：情報管理の重要性と現状認識

教育の情報化の進展に伴い、大学に修学指導、進路・キャリア支援、経営戦略、自己点検・評価、教育・研究資料など、貴重な情報資産が蓄積されつつあり、その有効活用が大学の教育・研究活動、経営活動の成否に大きく影響するところとなってきています。

それには、情報を利活用する教職員、学生が安全な環境の中で使用できるように、大学が組織的に情報の管理・運用について対策を講じておくことが不可欠であります。

そこで、情報管理の問題を参加者全員が共通理解するために、守るべき情報資産の範囲や内容について、大学の事例をもとに研究を行うとともに、危機管理意識の欠如を確認し、講ずべき対応策の課題と修得すべき技術について整理します。

セキュリティ情報管理分科会

A-1コース A-2コース参加の方は、全体会終了後、本分科会に参加していただきます。

テーマ：情報管理の危機的状況打開のための政策課題と環境課題

情報管理の破綻事例や種々の情報漏洩に関する事例を取り上げ、解決のための基本的な方針を確認し、具体的なコースの検討事項について整理します。

(サブテーマ)

- ・ 大学に備えるべき情報資産とは何か(守るべき情報、公開するべき情報)
- ・ セキュリティポリシー
- ・ 解決策に向けた基本方針の確認

A-1 セキュリティ政策コース

テーマ：大学が組織的に取り組むべき情報管理政策

対象者	情報のセキュリティ確保や情報管理に関しての責任者、学内の事務部門の責任者および責任者に準ずる方。
内容	学内の情報管理を含めたセキュリティ問題の政策面における問題について理解を

深めます。

(サブテーマ)

- ・ 教職員・学生に対する情報取り扱いの留意点(情報を受・送信する際の注意点、不正行為等の場合の方策等)
- ・ 教育・研究の戦略的ネットワーク活用に対するセキュリティ政策
- ・ セキュリティポリシー遵守のための体制と方策
- ・ コンプライアンス対策(著作権、個人情報、不正アクセス、ソフトウェアの管理)

A - 2 情報管理コース

テーマ： 情報漏洩・不正侵入防止などセキュリティ技術の動向確認と対応策の検討

対象者	学内のセキュリティ対応、情報管理の対応を直接担当される方およびその管理責任者。本協会の賛助会員。
内容	技術面から見たセキュリティ機能を整理し、参加者の大学での対応の実態について、点検・評価を行います。その結果および技術動向を踏まえて、各大学で最善の環境を構築するための対応策を模索します。 コース運営の参考とするため、事前にアンケートを実施します。アンケートへの回答手順は参加者宛に直接ご連絡いたしますので、ご協力をお願いいたします。

(サブテーマ)

- ・ 技術的対応としてどこまでできるのか、どこまで必要なのか
- ・ 認証の不備がもたらす危険性と対応策
- ・ 情報漏洩対策(電子媒体・紙媒体)
- ・ 情報ネットワークシステムの安全対策と問題点
- ・ 遠隔授業・サイバーゼミに伴う通信規制などへの対応策

セキュリティ技術分科会

B1 コース B-2コース参加の方は、全体会終了後、本分科会に参加していただきます。

テーマ: セキュリティ技術問題の整理と対応策

セキュリティ技術の活用事例をもとに、望ましい技術対策や最新の技術動向について確認します。

(サブテーマ)

- ・ 基盤環境の整理
 - ・ 通信の暗号化
 - ・ 個人認証不正侵入検知システム 等
- ・ 望ましい技術対策
 - ・ 最新ウイルスの動向とセキュリティゲートウェイでの侵入防止策
 - ・ 生体認証
 - ・ コンテンツの技術的保護(ストリーミング、プロテクション技術)等

B-1 ネットワーク基本技術コース

対象者	ネットワークの管理・運用について、基本的な技術や知識の習得を目指す方
内容	インターネットや LAN の仕組みについて、講義や、簡単な実習、デモンストレーションを通じて学び、安全なネットワークの構築の基本的な技術を習得します。

(講習内容)

- ・ 通信の仕組み
- ・ キャンパスネットワークの構成
- ・ セキュアなネットワーク運用

B-2 ネットワーク運用管理コース

対象者	情報ネットワークの運用・管理に関わっている方
内容	ネットワーク、コンピュータを安全に管理・運用に必要な対応策について、実習やデモンストレーションを通じて学習します。

(講習内容)

- ・ 監視とログ解析
- ・ 通信路の暗号化対策 (SSL VPN) 外部からの接続と内部の接続
- ・ Winny 等 P2P 対策
- ・ 無線 LAN 対策 (認証と暗号化) 等

講習会タイムテーブル

8月4日

10:00	全体会			
12:00	昼食			
13:00	セキュリティ情報管理分科会	セキュリティ技術分科会		
14:30	休憩			
15:00	A-1 セキュリティ政策 コース	A-2 情報管理コース	B-1 ネットワーク 基本技術コース	B-2 ネットワーク 運用管理コース
17:00				
17:20 19:00	情報交換会 (希望者のみ)			

8月5日

10:00	A-1 セキュリティ政策 コース	A-2 情報管理コース	B-1 ネットワーク 基本技術コース	B-2 ネットワーク 運用管理コース
12:00	昼食			
13:00	引き続き コース別講習	引き続き コース別講習	引き続き コース別講習	引き続き コース別講習
14:30	休憩			
15:00				
17:00				

都合により変更することがあります。